

研究名：頭蓋骨膜洞を合併する遺残性脳瘤：単一施設解析

1．研究の目的

遺残性脳瘤は稀な疾患でありその自然歴や特徴がまだ明らかにされておらず、治療法が確立されていません。遺残性脳瘤のより良いマネジメントのために、当院の症例を、頭蓋骨膜洞との合併に主眼を置いて後方視的に解析します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2016年1月1日～2022年12月31日までに遺残性脳瘤と診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年6月

研究方法：遺残性脳瘤についてカルテから情報収集をし、頭蓋骨膜洞との合併率やその他の奇形などの特徴をまとめ、それが遺残性脳瘤の位置などに関係するか検討する。この研究により得られた結果をもとに過去の文献と比較しながら、遺残性脳瘤のより良いマネジメントを考察する。

3．研究に用いる情報の種類

性別、年齢、病歴、画像データ（CT/MRI から、遺残性脳瘤の部位・大きさ、頭蓋骨膜洞の有無、他の脳奇形や静脈奇形）、病理所見など

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年5月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 頼 友梨恵 / 荻原 英樹

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 頼 友梨恵